

本日のテーマ「映像化された本」

実施日：2023年3月26日

1 「medium/霊媒探偵城塚翡翠」

相沢沙呼/著 2019年 講談社 【YNア】

「invert/城塚翡翠倒叙集」

相沢沙呼/著 2021年 講談社 【Nア】

「invert 2」

相沢沙呼/著 2022年 講談社 【Nア】

TV.みられましたか? 原作にとっても忠実で両方とも楽しめる作品です。



2 「東京バンドワゴン」シリーズ ※続巻中

小路幸也/著 2006年~ 集英社 【Nシ】

「あの頃、たくさんのお茶とお茶の間」に届けてくれたテレビドラマを、その40周年に、東京下町で大家族が繰り広げる温かい物語。



3 「西遊記 1~10」

呉承恩/作 2005年 岩波書店 【S923コ】

4回テレビドラマ化していますが、毎回三蔵法師役は女優さんが演じていたので、ずっと三蔵法師は女性だと思ってました。ドラマで、悟空がお師匠さんとケンカしたり、お師匠さんが妖怪にさらわれたり、悟空が心西して川に落ちたエピソードも、ちゃんと原作にあるものだったんですね。



4 「聖(セイント)☆お兄さん 1~19」 ※続巻中

中村光/著 2008年~ 講談社 【マ/ナカ】

こぶをよく、NHKで放送したな...と思っながら観ていました。あえて手抜きしたであろう適当なカットの特撮が原作のゆるさと合って良かったです。

5 「小公女」→アニメ版DVDあり。

バーネット/著 伊藤整/訳 2004年 新潮社 【S933バ】

どんな辛い境遇にあっても賢さと想像力で乗り切る凛とした主人公がとても魅力的です。アニメ版と原作で主人公の印象が少し違うのも面白いです。

6 「虚構推理」シリーズ

城平京/著 2019年~ 講談社 【YSNシ】

人の原意や想いから探れに虚構の存在に虚構の推理で挑む変わった推理小説です。



7 「ゼロの焦点」→DVDあり。

松本清張/著 2008年 新潮社 【SNマ】

宝田社長の妻・佐知子の演技が本を讀んだのとは迫力が違っていて、自分がその時遭遇しているようで、驚き感動しました。小説とDVD.比べてみてはどうか?

利用者さんがおススメ



8 「悪の教典 上・下」

貴志祐介/著 2012年 文藝春秋 【SNキ】

心臓や強い刺激に弱い方、先生は聖職者だと思っっている方は読まれないほうが、でないと...

9 「護られなかった者たちへ」

中山七里/著 2018年 NHK出版 【Nナ】

映画が先だったので、本は実は読んでいません。でも返却が済むまで、すくすく号の利用者さんに数人紹介しました。みんな、とても面白かったって言われていました!!

10 「風に立つライオン」

さだまさし/著 2013年 幻冬舎 【Nサ】

毎花一郎役の大沢「におおさんが大草原に向かっ、「カンパレー!!」と叫んでいる姿に、バグ「唇が歪みました。温かく、優しい気持ちにさせてくれる作品です。」



11 「雨あがる/映画化作品集」※未所蔵

山本周五郎/著 2020年 講談社

読書会参加者さんからおすすめ

映画「いのち、ぼうにぶろう」(1971年公開)に感銘を受け、原作を讀んでみた。この本に収録されている「深川安楽亭」が原作なのだが、下った90ページほどの短編だったことに驚いた!!

「深川安楽亭」

山本周五郎/著 2011年 新潮社 【SNヤ】

こちら読書会コーナーにあります。